

ひらかわ あらた  
平川 新

宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長

# 未来への航路

## 塩竈から瑞巖寺へ

メキシコ大使のビスカイノが、スペイン船の寄港地を探すために仙台領沿岸を探検しました。その様子を『金銀島探検報告』から追ってみましょう。

最初の調査地は塩竈でした。1611年12月15日に塩竈で宿を取ったあと、塩竈湾や松島湾を視察しています。どこかの浜のことがわかりませんが、小さな船の港としてはよいが、スペイン船の寄港には向いていないとあります。

松島では瑞巖寺を見学しました。ガルシアのサンティアゴカエルサレムのように、大勢の人が巡礼に来ていると驚いています。スペインのサンティアゴ・デ・コンポステラは

キリスト教の聖地で、サンティアゴ巡礼の道として知られています。エルサレムはイスラエルにあります。ユタヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地とき

ています。瑞巖寺はヨーロッパの有名な寺院や聖地のような場所だということです。瑞巖寺は戦国時代末には廃墟同然にまで衰退していましたが、仙台を藩都に定めた伊達政宗が復興に着手し、1609年(慶長14年)に完成させています。瑞巖寺見学は政宗が勧めたところがありますので、完成したばかりの瑞巖寺をビスカイノに見せ

たかっただけです。彫刻や細工が知られる限り最も素晴らしい、この世に、石のスコリアル、木の松島に並ぶものはないとまで賞賛しています。エスコリアルというのはスペインにある修道院のことで、王宮としても使われていました。ヨーロッパの石造建築と日本の木造文化を対比し、瑞巖寺が最高級の価値をもつ寺院だと評価したので。

## 政宗が石仏を破壊した？

瑞巖寺を見学したとき、宣教師のルイス・ソテロも一緒だったとビスカイノは書いています。イタリヤの歴史家アマティーの『伊達政宗遣欧使節記』は、ソテロの証言をもとに日本のことも書いています。イタリヤの歴史家アマティーの『伊達政宗遣欧使節記』は、ソテロの証言をもとに日本のことも書いています。イタリヤの歴史家アマティーの『伊達政宗遣欧使節記』は、ソテロの証言をもとに日本のことも書いています。



瑞巖寺孔雀の間 (瑞巖寺HPより)

## ⑱ビスカイノとソテロ、瑞巖寺を見る

### 瑞巖寺を見る

ますが、これにはビスカイノが一緒だったと書かれています。ソテロは支倉常長をヨーロッパに案内した人物ですが、彼は瑞巖寺のことを壮麗な装飾が施された、とても大きな寺院だと話しています。瑞巖寺をスペイン・カタルニアにあるモンセラート修道院やイタリヤのアンコナにあるロレット聖母教会のような所だとも書いています。いずれも壮麗な修道院です。ビスカイノもソテロも瑞巖寺を見て、ヨーロッパで著名な修道院のことを思い浮かべたのでした。

このように瑞巖寺はヨーロッパ人が見ても感嘆するような寺院だったのですが、ソテロは私たちが驚くような



サンティアゴ・デ・コンポステラ大聖堂 (wikipedia より)



国宝瑞巖寺本堂 (瑞巖寺HPより)

身。東北大学名誉教授。昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。



ひらかわ・あらた  
昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。

東北大学災害科学国際研究所の所長などを経て、平成26-31年度まで宮城学院女子大学学長を務めた。専門は日本近世史、歴史資料保全学。令和4年4月に、3代目のサン・ファン館館長に就任した。